

天皇陛下御誕生日祝賀レセプションにおける挨拶

令和2年2月14日

在サモア独立国日本国大使 寺澤元一

サモア独立国 国家元首トゥイマレアリイファーノ・ヴァアレト
ア・スアラウヴィ・2世殿下並びに同令夫人マスイオフォ殿下, 副国
家元首アフィオガ・タプレサテレ・ロパティ・ムアリア殿下並びに同
令夫人ファレトア殿下, 首相トゥイラエパ・ファティアロファ・ルペ
ソリアイ・サイレレ・マリエレガオイ（以下省略）をはじめとする要
人の皆様,

徳仁天皇陛下の最初の御誕生日祝賀レセプションをここサモアで
開催し、皆様の御参集を頂いたことは多大な光栄であり、心より感謝
申し上げます。日本は新しい元号、令和の時代を迎えました。この元
号は、1300年前に編纂された古代の歌集（万葉集）からとられた言
葉であり、「美しい調和」（「Beautiful harmony」）、また「人々は美し
い調和を通じて文化を生み育む」という意味が込められたものであ
ると言います。

徳仁天皇陛下は、昨年5月に日本の第126代天皇として御即位になり、10月の即位礼正殿の儀において、御即位を正式に宣言されました。この式典には、日本から2千人ものゲストと180か国以上から要人が出席されました。ここサモア独立国からは、国家元首 トゥマレアリファノ・スワラウヴィ・ヴァーレトア2世殿下と令夫人 ファアマウシリ・レイナフォ・トゥイマレアリファノ殿下が御出席になりました。

私は、昨年11月にこの国に到着しましたが、地域コミュニティの方々が「美しい調和」を通じて互いに協力し合う姿を多く見ました。それは、教会で響く賛美歌のように美しいものでした。

例えば、この国では、昨年秋に発生した麻しんの流行により深刻な悲劇がもたらされましたが、私は、この事態克服のために、多くのコミュニティの方々が様々なところでボランティアとして協力し合っている姿を目の当たりにしました。我が国から派遣された緊急医療支援チームの隊員の人たちも、サモアのコミュニティの方々が豪州、ニュージーランド、英国、米国等から派遣された外国医療支援チーム

を物心両面で支えている姿を見て感動したと言います。

地域の学校で活動する J I C A のボランティアの人たちも、放課後、両親が忙しく面倒を見ることのできない子供たちを他の親たちが面倒を見て食事を施している姿を見て、地域コミュニティ全体で自他の子供を分け隔てなく世話をしている姿を見て感動したと言います。

私は、サモアの地域コミュニティは、人と人との絆が深く、「美しい調和」を通じて、助け合いの伝統文化を育んできたと気づかされました。我が国は、多くの災害に遭遇してきましたが、地域コミュニティの人々の助け合いが復興において重要な役割を果たすことを学んできました。ここサモアにおいても、過去に多くの自然災害に遭ってきましたが、コミュニティの人々の助け合いの文化が復興に向けた強靱な力となってきたと考えます。私は、日本とサモアが「美しい調和」の伝統的価値を共有しており、両国がこれまで「美しい調和」を通じて、これまで多くの交流や協力関係を築いてきたことをうれしく思います。

政府レベルでは、徳仁陛下の御即位の式典参席のための国家元首の訪日をはじめ、多くの指導者レベルの交流を続けてきました（スクリーンに要人往来のリストを映写）。

また、我が国とサモアは、対等な協力パートナーとしてお互いに助け合ってきました。国連等多くの国際場裏で、サモアは、一貫して我が国の立場を支持してきました。我が国も、これまでこのようにサモアの経済社会開発を支援してきました（スクリーンに無償援助事業の写真等を映写）。ヴァイシガノ橋もまもなく竣工します。

地球規模の課題においても、我が国とサモアは、協力し合ってきました。気候変動問題に対応する人材育成のための太平洋気候変動センター（PCCC）の建物が昨年完工し、サモア政府、ニュージーランド政府、太平洋地域環境事業事務局（SPREP）の協力の下に、ここサモアにおいて太平洋島嶼国の多くの気候変動担当官が研修を受けています。JICAは、サモアをはじめとする大洋州島嶼国11カ国の廃棄物管理制度の強化支援を推進しています（スクリーンに

各種事業の画像を映写)。

地域コミュニティレベルにおいても、我が国は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、これまで多くの小学校や保健施設の改善等の事業を進めてきました。また、JICAの多くのボランティアが皆様のコミュニティに入り、様々な支援活動を展開しています。

(スクリーンにGGPの実績地図、JICAボランティアの活動写真を映写)

市民レベルの交流においても多くの招聘派遣事業を展開してきました。特に、今年、我が国では、東京オリンピック、パラリンピックを開催します。昨年のラグビーW杯のように、福島県いわき市と山形県山形市がホストタウンとして、サモアの国家代表チームを受け入れます(スクリーンに我が国地図上に両市の位置を図示)。スポーツを通じて、両国の間に「美しい調和」がいつそう培われることを希望します。両市を紹介するブースをホワイエに準備しましたので、どうぞ資料をお持ち帰り願います。

最後に、来年は第9回太平洋島サミット（PALM9）を我が国の三重県で開催することを申し上げたいと存じます（スクリーンに三重県を赤く表示した地図を映写）。太平洋地域は、気候変動による海面上昇、プラスチック・ゴミによる海洋環境の被害、麻疹や新型コロナウイルスのような感染症の流行等、多くの地球的規模の課題に直面しています。私は、PALM9が我が国、サモアをはじめとする太平洋島嶼国、志を同じくする国々、国連の諸機関との間の「美しい調和」を育むことによって、地球的規模の課題に対する協力を促進することを祈っています。

ご清聴に感謝します。ファアフエタイ・ラヴァ（サモア語で感謝の意）